



# 梅田中だより

&lt;第21号&gt;

**1月**

新年、明けましておめでとうございます。  
今年もよろしく願っています。

明けましておめでとうございます。2022年がスタートしました。今年も、職員一丸となって子供たちの健やかな成長に貢献できますよう、全力で励みたいと思います。よろしく願っています。

年が明けてすぐ、3年生は高校入試がスタートしました。受験に向かって、不安な気持ちに押しつぶされそうな気持ちを抱く中ですが、自分の進む道を真っすぐに目指して、冬休み中も着実に努力をする生徒の姿が見られました。その力を十分に発揮して、よい結果を導き出してほしいと願っています。

## 頑張れ、3年生！力をつけて、実力を発揮しよう。

年が明け、いよいよ3年生の子供たちは、自分自身の進路を決定する大切な試験を受ける時期がやってきました。この冬休み中に、静かに、しかし、着実に実力を伸ばしている子供たちがいたのでお伝えします。

3年生が受験前、最後の追い込み勉強に励んでいます。梅田中のこれまでの先輩たちも実施してきましたが、少なくなった授業時間を回復するかのよう、集中して取り組み、学習効果をさらに上げようと努力しています。とても、素晴らしい取り組みだと思います。

年末、3年生の子供たちは、どの生徒も集中して励んでいました。年が明けた後も、この取組は変わらず、午前中に自学自習をする3年生の子供たちが多数見られました。本当に頭の下がる思いです。

子供たちのこの努力の成果が確実に実ることを、私たち教職員は心から祈っています。

新年が明けてから、既に、1月5日（水）を皮切りに私立の高等学校の入試が始まっています。3年生の子供たちにとっては、大切な進路を決める時です。今後、さまざまな決断をする機会がたくさんやってきます。自分自身の力で決めるということは、大変なことです。次の試練に立ち向かう力を身につけることにつながります。ぜひ、この挑戦をしっかりと成し遂げて、次の試練に立ち向かう力を身につけてほしいと思います。「頑張れ、3年生の子供たち！」と教職員全員で応援しています。



最後の追い込みに励む3年生

## 東京オリンピック2020の 聖火リレーのトーチをお借りしました。

昨年の東京オリンピック・パラリンピックで使用された、聖火リレーのトーチをお借りして展示しました。借してくれたのは、本校の卒業生で現在、前橋商業高校3年生の男子生徒です。この卒業生は群馬県沼田市で聖火リレーに参加をしました。大変貴重な宝物ですが、今回、後輩のために快く借していただくことができました。

このトーチは、東日本大震災（2011年）で役目を終えた、仮設住宅の窓などが材料として再利用されています。平和のシンボルとして聖火リレーのトーチに姿を変え、一歩ずつ復興に向けて進む被災地の姿を世界に伝える役割を果たしています。

また、製造された10,000本のうち、3,000本は群馬県（太田市）の従業員わずか6名の工場で作られました。群馬県のもつ高い技術力がオリンピックを支えていたのです。群馬県人としてちょっと誇らしい気持ちです。



平和の象徴です

## 2年生が職業インタビューを実施しました。

12月16日（木）の午後、2年生の子供たちが、地元の梅田飯店さんをはじめ、市内にある17の事業所へ伺い、職業に関するインタビューを実施させていただきました。当日は、1～2時間程度の時間で、訪問した事業所での仕事の内容、これまで体験した職業にまつわる嬉しかったことや苦勞をしたこと、そして、何よりそれぞれの職業の意義などを聞いて帰ってきました。今年度は、職業体験学習がコロナウイルス感染症の影響により、実施ができなくなったことを受け、感染度の割合が低くなった12月まで延期し、体験に変わるものとして実施をしました。



市立図書館で実際に返却処理を体験させてもらいました

子供たちも、事前学習として事業所への訪問依頼の電話連絡の方法や話し方、そして、各訪問先で事業所に失礼のないような対応の仕方を学んでいました。訪問先で子供たちが見せた真剣なまなざしが、今後の職業理解につながっていくと確信をしました。今回、貴重な仕事の時間を割いて、ご協力いただきました各事業所の皆さまには、心より御礼を申し上げます。



青少年課で説明を受けました

## 梅田の伝統のあじ「バンダイモチ」を作りました。

1年生の子供たちが12月21日（火）の家庭科の授業で「バンダイモチ」づくりを体験しました。梅田町生涯学習推進委員幹事の谷澤滑治様をはじめ9名の方々にご協力いただき、バンダイモチのいわれ、作り方等を指導していただきました。当日は、興味津々で炊き上がったうるち米をすり鉢でつぶし、串に刺して焦げ目がつくまで焼き上げます。よく焼けた後はハケで味噌を塗り、熱いうちに頬（ほお）張りました。



うまかったかな？

どの子供たちもバンダイモチの素朴な味わいに舌鼓を打ち、おいしいと喜んでいました。

コロナウイルス感染症の影響で、昨年度には実施することができなかった地域交流の学習です。ご指導いただいた梅田町生涯学習推進委員の皆様も、子供たちと一緒に、楽しそうに「バンダイモチ」作りを楽しみました。今回のみ1年生が昨年度体験できなかった2年生のために特別に多めに作り、2年生にも振る舞いました。ご指導いただきました梅田町生涯学習推進委員の皆様には、感謝申し上げます。



説明を聞きながら作りました

梅田地区の「バンダイモチ」の民話より（群馬県教育委員会の資料）

山のお祭りの時に作った。これはうるちで作った。うるちをついて、焼いて串に刺して味噌をつけて食べた。山の仕事の始まりとか、終わった時に、宿を決め、山仕事の仲間が集まって、作って食べた。

山の神は、味噌のにおいが一番好きだといひ、きこりのお祝いにはバンダイモチを作る。この辺ではお祝いから慰労休暇に変わり、バンダイモチを作り、ショウチュウ、ナオシなどを飲んで、バンダイモチを腹一杯、食べて、慰労と栄養をつける。いい天気が続いたから、バンダイモチでも作るべえというわけである。



ご協力いただいた梅田地区生涯学習推進委員の皆様



梅田中学校 学校通信 「梅田中だより」 <文責 阿部 誠二>  
TEL 32-1018, FAX 32-1039

URL <http://www.kiryu-umeda-j.ed.jp/>

上のQRコード又はURLから梅田中学校のWebページをご覧ください。

※ ホームページの更新を随時しております。写真もカラーで掲載しておりますのでご覧ください。